

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 6 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22520390

研究課題名（和文）国際的なコーパスの開発と分析（CIPED）

研究課題名（英文）Development and Research of Corpus of International Professional English Discourse

研究代表者

ハンドフォード マイク（HANDFORD Mike）

東京大学・大学院工学系研究科・教授

研究者番号：00466781

研究成果の概要（和文）：本研究における第一件目の成果は建設業におけるインタビュー、各種文書を含む様々なデータを収集したことである。国際的な環境で発生する多様な技師の談話の録音データは集積され、国際的建設業におけるコミュニケーションデータコーパスとなる。過去三年間に収集したデータは、アジアおよびヨーロッパ諸国で収集された、設計段階から建設過程を含めたものとなっている。収集データ内容は小規模プロジェクト、国際的大規模プロジェクトを含む、多様な組織から多数の技術者が参加したもので、英国その他の国際的建設現場における非言語コミュニケーションの使用、国際設計ミーティングの意見対立時における論証的理解等の発見がみられる。本研究の第二件目の目的である研究成果の学術出版については、2011年に *Journal of English for Specific Purposes* において最優秀賞を受賞した。本研究の第三件目の目的は、本研究成果を東京大学大学院の生徒および国内の技術者のコミュニケーション能力向上教育に使用することであるが、この目的についても既に成果をあげており、内容は東京大学大学院社会基盤学科教授陣対象の講義、技術者を対象としたワークショップに使用され、学術記事として出版された。

研究成果の概要（英文）：The first aim of this research project was to collect various forms of data from the construction industry, including interviews, documents and most importantly recordings of spoken interactions between professional engineers in international settings. These different sources of data could then be combined into a corpus of international construction communication. Over the three year period, data has in fact been collected from Asian and European locations, from both the design stage of the construction process and the construction phase of the construction process. The data is from both small, local projects and large international projects involving many participants from different organisations. Some key findings concerned the use of non verbal communication on UK and international construction sites, and the discursive realization of conflict in international design meetings. A second aim was to publish findings based on this research in academic publications. This has been achieved. For instance, one paper on language in the construction industry won a prize for best article of 2011 in the prestigious *Journal of English for Specific Purposes*.

A third aim of the research was to communicate the findings to postgraduate students at Tokyo University, and to professionals in the field. Once again, these aims have been fulfilled, through lectures in the department of civil engineering, workshops with professionals, and articles in professional magazines.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2012 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,000,000	900,000	3,900,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：談話研究、コーパス語用論

1. 研究開始当初の背景

現在、日本で国際的な場でのデータを含む英語コーパス教材で有力なものはなく皆無に等しい。国際的にも従来の応用言語学の研究では、ネイティブスピーカー同士の会話に焦点を当てたものが多く、国際的な英語コミュニケーション問題の研究は少数である。しかし現状、実際に世界で使われる英語の80%はノンネイティブスピーカー同士の会話であり、この割合はより増加し世界英語の広がりには進んでいる。このことから国際ビジネスシーンで活躍する人材の多い工学系研究科社会基盤学専攻で国際コミュニケーション力を向上させる講義を行う申請者がここで開発しているコーパス教材は、これらの現場で活用・改良が可能である。従来のビジネス英語の研究は記述書類などの研究が中心で、会話分析・研究は限定されていたが、申請者がビジネスで使われる生の英語を録音、研究することで、大学内での教育、研究及び企業内の人材育成の場でも活用できるデータベース CIPED が構築可能となり、日本人のビジネス・コミュニケーション能力と国際社会での活躍を向上が強く期待できる。

2. 研究の目的

本研究における目的は建設業におけるインタビュー、各種文書を含む様々なデータを収集することである。ここでは国際的な環境において発生する技師の談話の録音データが最も重要なものとなる。これらの多様なデータは集積され、国際的建設業におけるコミュニケーションデータコーパスとなる。および本研究成果の学術出版もこの目的とされる。

3. 研究の方法

企業など組織からの許可の上で行った国際ミーティング内容の音声録音を元に、話し手の地位が想像できる話題やコミュニケーションが必要となる話題などのコンテキストに関するデータについても同時に収集を行う。データは外部委託の専門家によって書き起され、固有名詞はすべて仮名に置き換えられる。これは仮名を使うことにより個人情報流出にかかわる問題を解決するためである。コンテキストに関する情報は順次データベースに組み込まれてきており、これがすべて終了した段階で分析可能なコーパスとなる。データ収集のための基準は次の通り：1. 仕事の場で発生したコミュニケーションあるいは仕事にかかわる話題を含んだコミュニケーションであること。2. ノンネイティブスピーカー同士、あるいはネイティブとノンネイティブスピーカーの間のコミュニケーションであること。3. 基本的に英語でのコミュニケーションであること。世界各国で相当量のデータを収集していくにあたり、こうした単純明確な基準の設定が必須である。

4. 研究成果

過去三年間に収集したデータは、アジアおよびヨーロッパ諸国で収集された、設計段階から建設過程を含めたものとなっている。収集データ内容は小規模プロジェクト、国際的大規模プロジェクトを含む、多様な組織から多数の技術者が参加したもので、英国その他の国際的建設現場における非言語コミュニケーションの使用、国際設計ミーティングの

意見対立時における論証的理解等の発見がみられる。本研究成果の学術出版においては既に成果をあげており、2011年に *Journal of English for Specific Purposes* において最優秀賞を受賞した。本研究の第三件目の目的は、本研究成果を東京大学大学院の生徒および国内の技術者のコミュニケーション能力向上教育に使用することであるが、この目的についても既に成果をあげており、内容は東京大学大学院社会基盤学科教授陣対象の講義、技術者を対象としたワークショップに使用され、学術記事として出版された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

① Handford, M., Construction communication training: issues and aims, *Civil Engineering*, 査読有, Vol.67, No.11, 2012, 73-76

② Handford, M. & Matous, P., Lexicogrammar in the international construction industry: a corpus-based case study of Japanese-Hong-Kongese on-site interactions in English (Winner of the 2011 Horowitz Prize for Best ESP article), *The Journal of English for Specific Purposes*, 査読有, Vol.30, 2011, 87-100

③ Michael HANDFORD, "It's not rocket science": metaphors and idioms in conflictual business meetings, *Text and Talk*, 査読有, Vol.30, No.1, 2010, 27-51

[学会発表] (計6件)

① M. Handford, Not 'letting it pass' in an ELF business meeting in South East Asia, BAAL Conference (招待講演), 2012年9月6日, Southampton University, UK

② A. Koester and M. Handford, The use of metaphors and idioms in ELF and L1 spoken professional English, English as a Lingua Franca Conference (招待講演), 2012年5月24日, Bogazici University, Istanbul, Turkey

③ M. Handford, Analysing Professional Discourse: Corpus Context and Culture, Applied Linguistics and Language Teaching Conference (ALLT) (招待講演), 2012年4月21日, National Taiwan University of Science and Technology, Taiwan

④ M. Handford, *Exploiting a Business Corpus for research and pedagogical purposes*, The Department of English

Studies (招待講演), 2011年9月12日, Hong Kong University, China

⑤ Michael Handford, Interpersonal items and discursive practices in international construction: a Japanese construction company in Hong Kong, *Asia-Pacific Rim LSP and Professional Communication Association*, July 15th, 2010, Kuala Lumpur, Malaysia

⑥ Michael Handford, Applying mixed methods in understanding professional intercultural communication: the case of deontic modality in business meetings, *British Association of Applied Linguistics*, September, 9th, 2010, Aberdeen, Scotland, UK

[図書] (計5件)

① Hyland, K. Chau, M. H. and Handford, M., *Corpus Applications in Applied Linguistics*, Continuum, 2012, 260頁

② Lisboa, M. and Handford, M., *Business Advantage: Theory, Practice, Skills (advanced level)*, Cambridge University Press, 2012, 208頁

③ Handford, M., Koester, A., Lisboa, M & A. Pitt, *Business Advantage: Business Theory, Practice Skills (upper intermediate level)*, Cambridge University Press, 2011, 198頁

④ Michael Handford, *The Language of Business Meeting*, Cambridge University Press, 2010, 273頁

⑤ Michael Handford, What a corpus can tell us about specialist genres, *Routledge Handbook of Corpus Linguistics*, 2010, 255-269頁

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

ハンドフォート マイク (HANDFORD Mike)
東京大学・大学院工学系研究科・教授
研究者番号：00466781

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：